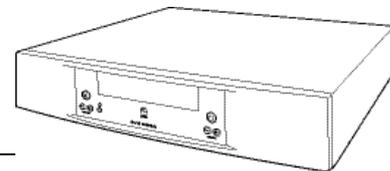




MAJIK KONTROL

プリアンプ



オーナーズマニュアル

● 日本語

安全に関する重要事項

製品のリアパネルまたは底面に付されたマークについて：



危険な電圧が存在することを警告するものです。
感電を引き起こす可能性があるので注意が必要です。



説明書やサービスマニュアルにおいて、
操作、メンテナンス、サービス上の重要な事項を示すマークです。

本機を主電源に接続する場合

注意

感電の恐れがあるため、カバーを取らないでください。

ユーザーが修理・調整すべき内部部品はありません。

サービスは有資格の技術者に一任してください。

電源プラグのヒューズは、同タイプ、同定格のものと交換してください。

ヒューズ交換は、電源コードを抜いてから行ってください。

警告

火災や感電事故を防止するため、本製品を雨にあてたり、湿気の多いところに置いたりしないでください。感電の危険があり。一開けないでください。

電源コードとプラグ

販売する国により、製品には改造不可の電源プラグが付いています。

交換用電源コードは販売店で求めください。プラグ交換が必要な場合、注意して処分してください。導線が露出したプラグをコンセントにつなぐと危険です。

茶色のワイヤはLive ピンに接続します。

青いワイヤはNeutral ピンに接続します。

緑/黄色のワイヤはEarth ピンに接続します。



少しでも疑問があれば、販売店が技術者にご相談ください。

製品のフューズおよび消費電力については、各製品のリアパネルあるいは底面をご参照下さい。

安全注意事項

1. 説明を読む：
2. 説明書を保管する：
3. 警告に従う：
4. 指示に従う：
5. 本機をバスタブ、洗面台、台所流し、洗濯槽などの近く、高湿度の地下室内、プールサイドなど、水のそばや湿気の多い場所では使用しないでください。
6. お手入れは、乾いたクロスで行ってください。
7. 換気口はふさがらないでください。製造者の指示に従って設置してください。適切な換気ができる位置と向きに設置してください。例えば本機をヘッド、ソファ、ラグなどの上に置くことは、通風口を塞ぐ恐れがあるため、避けるべきです。造り付けの書棚やキャビネット内も通風口からの空気の流れを妨げることがあるため、不適当です。
8. ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ(アンプを含む)などの熱を発生する物のそばに設置しないでください。
9. 安全性を高める分極プラグ、アース付きプラグの目的を遵守してください。分極プラグには一方が他より広い2つのブレードが付いています。アース付きタイプのプラグには、2つのブレードのほかにアース用の突起があります。この3番目の突起は安全を守るためにあります。製品に付属するプラグがご使用のコンセントに合わない場合は、電気技術者に相談の上、旧型コンセントを取り替えてください。
10. 電源コードは、踏まれたり、他の物に引っかかったりしないように配置してください。特に、プラグ、電源コンセント、本体を出る個所に注意が必要です。
11. 製造者指定の付属品以外は使用しないでください。
12. スタンド、三脚、ブラケット、テーブルは、製造者指定の物、または本機と共に販売された物以外は使用しないでください。
13. 雷が鳴っているとき、また長期間使用しない場合は、本機器の電源プラグを抜いてください。
14. サービスは有資格の技術者に一任してください。電源コードやプラグの破損、製品内部に異物や液体が入ったとき、製品が雨や湿気にさらされたとき、正常に作動しないとき、あるいは製品を高いところから落としたときなどは、専門技術者による修理調整サービスが必要となります。

15. **壁や天井への取付:** 壁や天井に取り付ける場合は、必ず製造者の指示に従ってください。
16. **電源:** 必ず、操作説明書や製品本体に記載されたタイプの電源に接続してください。
17. **電源プラグ:** 本体の主電源を切断するには電源プラグを抜いてください。電源プラグは常に手の届きやすい場所に設置します。本製品を使用していないときは、電源スイッチ(該当する場合)を使用してください。
18. **電線:** 屋外アンテナは、電線から離して設置してください。
19. **屋外アンテナの接地:** 本製品に屋外アンテナを接続する場合は、電圧サージと静電気蓄積から保護するために、アンテナをアースする必要があります。米国の場合、設置に関してはNational Electrical Code ANSI/ NFPA 70 の810項を参照してください。
20. **電話線:** 本製品は、特に指示のない限り、電話線に接続しないでください。
21. **異物や液体の混入:** 本機器内部に異物や液体を入れないでください。水しぶきのかかる場所に置かないこと。液体の入った容器を本機器の上に乗せないでください。液体の入った容器を本機器の上に乗せないでください。
22. 火のついたろうそくなどの裸火が本製品に触れないようにしてください。
23. 本製品は温和な気候や熱帯気候で使用できるよう設計されています。

CE 遵守宣言

リン・プロダクツ・リミテッドは、本製品が低電圧に関する指令73/23/EEC および電磁互換性に関する指令89/336/EEC (92/31/EEC および93/68/EEC により修正) に準拠することを明言いたします。

当該製品が73/23/EEC (LVD) 指令の規定に従っている事実は、下記の各規準を遵守することにより証されています。

規準番号	制定年	試験形式
EN60065	2002	一般要件 マーキング 危険性のある放射物 通常条件における発熱 通常の作動条件における感電の危険 作動条件 絶縁要件 故障の要件 機械的な強度 電源に接続する部品 コンポーネント 端子装置 外部フレキシブルコード 電気接続と機械的な固定具 感電に対する保護 安定性と機械的な危険 耐火性

当該製品が89/336/EEC (EMC)指令の規定に従っている事実は、下記の各規準を遵守することにより証されています。

規準番号	制定年	試験形式
EN55013	2001	誘導排気
EN55013	2001	吸収排気
EN55020	2002	免責

FCC 通告

注記

本機器は試験審査の結果、FCC 規則第15部により、クラスB デジタル機器の限度内で作動することが認められました。この限度は、一般家庭用機器の設置における有害な干渉に対し、妥当な保護を提供するために定められたものです。本機器は、高周波エネルギーを発生、使用し、放射する可能性があり、指示に従って設置・使用されない場合、無線通信に干渉するかもしれません。しかし、特定の設置条件により干渉を起こさないという保証はありません。

本機器がラジオやテレビの受信を妨害するようであれば、本機器のスイッチを切り入れたりすることで、確認できます。次のような方法のひとつで、あるいはいくつかの方法の組合せで、干渉が改善されるかどうかお試しください。

- 受信アンテナの方向を変える。または位置を変える。
- 本機器とレシーバーの距離を離す。
- レシーバーが接続されている電源の回路とは別の電源に本機器を接続する。
- 販売店またはラジオ/テレビの専門技術者に相談する。

著作権と商標記載に関するお断り

Copyright © 2006 Linn Products Ltd. 2006年3月初版。

Linn Products Limited, Glasgow Road, Waterfoot, Eaglesham, Glasgow, G76 0EQ, Scotland, United Kingdom.

すべての権利を留保します。発行者の書面による許可なしには、本書のいかなる部分も、いかなる形式であれ、また電子的、機械的、複写、録音、録画その他いかなる手段であっても、複製、使用可能な形で保存、転送をすることはできません。

本書記載の商標について：Linn (リン) およびLinnのロゴは、Linn Products Limitedの登録商標です。KNEKT、INTERSEKT、MAJIK およびKONTROL はLinn Products Limitedの商標です。

本マニュアル記載事項は情報提供のみを目的としたもので、通告なく変更されることがあります。またリン・プロダクツ・リミテッドが内容を保証するものではありません。

リン・プロダクツ・リミテッドは本マニュアルに誤りや不正確な記述があつたとしても、それに対する責任を負うことはありません。

リン・プロダクツ・リミテッドでは、弊社以外の商標・商品名に対する所有権を主張することはありません。

PACK 1159

目次

はじめに	1	セットアップ(ユーザーオプション)	13
設置	1	セットアップメニューに入り選択する	13
重要な情報 — フォノ入力	1	Display configuration (表示の設定)	14
開 梱	2	Source configuration (入力の設定)	15
設 置	2	Audio configuration (音声設定)	16
接 続	3	Unit configuration (機器設定)	17
背面パネル	3		
ラインレベルの入力機器の接続	4		
ターンテーブルの接続	4		
パワーアンプへの接続	5		
アナログ録音機器の接続	5		
電源の接続	5		
操作	6	仕様	19
操作ボタン	6	保証とサービス	21
前面パネル	6		
リモコン	7		
スタンバイ	10		
基本操作	11		
入力(ソース)の選択	11		
音量調節	11		
その他の調整	12		
バランス調整	12		
録音	12		

はじめに

MAJIK KONTROL プリアンプ

Linn は、30 年以上前に、音楽は人の幸福の基本であり、最高の水準で再生された音楽は心に残る喜びを与えることができるという信念によって創立されました。

最高の品質で音を再生したいという望みは今日でも弊社の原動力であり、マルチチャンネルやAV システムの人気の上昇にもかかわらず、Linn は2 チャンネルオーディオファンのために最高水準の製品を開発することを継続し、MAJIK KONTROL プリアンプでその約束を果たしました。この進化した製品は最新の技術を利用して、お客様の想像以上に、より音楽に近づくことができる再生を実現します。フォノ入力も装備し、MAJIK KONTROL は既存のオーディオファイル(眼識あるオーディオファン)にもご満足いただける装置となりました。

MAJIK CD プレーヤーは、MAJIK KONTROL プリアンプおよび MAJIK 2100 パワーアンプと完璧なコンビネーションを構成するのももちろん、トータルシステムではなく既存の機器との組み合わせにおいても音楽コレクションの再発見をもたらしてくれるでしょう。

設置

重要な情報 — フォノ入力

本機をシステムに設置する前に下記を注意深くお読みください。本機はご購入の Linn 販売店による再設定を必要とする可能性があります。MAJIK KONTROL アンプには、フォノターンテーブルとの接続可能なフォノ入力があります。ターンテーブルがない場合も、以下の点に注意してください。

LINE INPUT 6 / PHONO は、MM 入力、MC 入力、または追加のラインレベル入力として設定することができます。これらの用語の説明については、以下の注記を参照してください。

工場出荷時には、LINE INPUT 6 / PHONO は、MM 入力対応として機能するように設定されています。

LINE INPUT 6 / PHONO を MC またはラインレベルモードでご使用になる場合、内部ハードウェアの再設定が必要なため、お買い上げの Linn 販売店による作業が必要です。Linn の指定した関係者以外の第三者により製品を改造解体した場合は、メーカー保証が無効になることがあります。

LINE INPUT 6 / PHONO の現在の設定については、セットアップメニューから確認できます。詳細については、本マニュアルの巻末にある「セットアップ(ユーザーオプション)」の章を参照してください。

注記:

ラインレベル入力と異なり、フォノステージでは極端に小さい信号レベルを増幅する必要があるため、細心の注意を払って扱わないと、ノイズや信号の劣化を受けやすくなります。そのため Linn では、フォノステージを、スイッチやソフトウェアで設定可能な調整ではなく、配線接続された回路として設計しました。これは、オーディオ性能を最大限に高め、このような極めて精度の高い回路において信号の劣化を起こす可能性のあるスイッチなどの部品を排除するためです。

用語「Moving-magnet(MM)」および「moving-coil (MC)」は、使用可能なカートリッジの2つのタイプです。ターンテーブルをお使いで、どのタイプのカートリッジを使用しているかわからない場合は、パッケージまたはメーカー公表の情報を参照するか、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

「line-level (ラインレベル)」入力は、CD プレーヤー、チューナー、DVD プレーヤー、ビデオレコーダー、TV の音声信号などの一般的なラインレベル製品のアナログ接続用です。

開梱

MAJIK KONTROL プリアンプには、以下の付属品が同梱されています。

- 蓄光リモコン
- リモコン用単4 乾電池 (2本)
- 接続ケーブル(黒) 2 組
- 電源コード
- 本マニュアル

将来の輸送などに備えて、梱包材や箱は保管しておいてください。

設置

MAJIK KONTROL プリアンプはお好みの場所に設置できますが、下記の点に注意してください (19 インチラックにも設置可能です。ラックマウント取付けキットをご用意しております。販売店にお問い合わせください)。

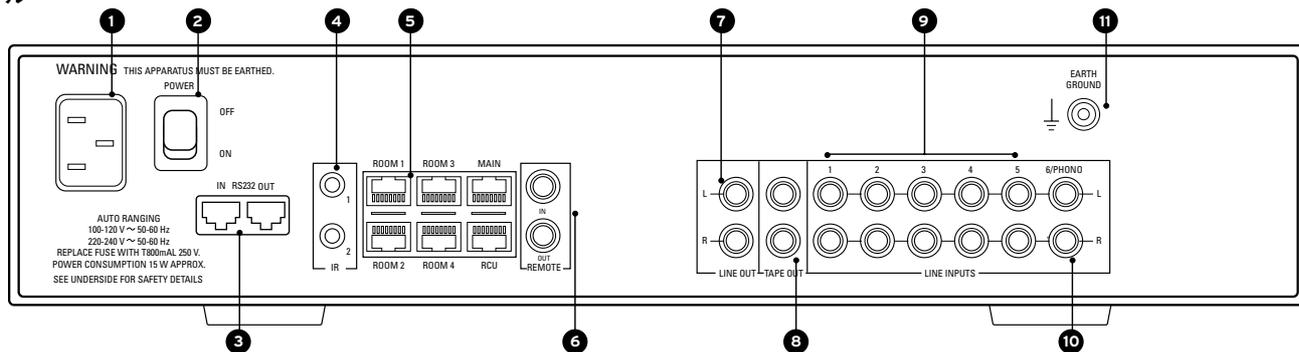
- 本機は、ディスプレイに日光 (直射日光、拡散光、反射光) が当たらない場所に設置してください。本機の赤外線リモートセンサーが日光の赤外線をキャッチし、本機の動作に悪影響を与えるおそれがあります。同様に、プラズマテレビ、蛍光灯や省エネタイプの照明などの電気製品にも、本機の動作に同じような影響を与える赤外線を放出しているものがありますので注意してください。
- 最高の性能を得るためには、本機を他の製品と積み重ねて設置しないでください。本機を単独でシェルフに設置するのが最適ですが、他の製品とやむを得ず近接してしまう場合は、上下に積み重ねるより、左右に並べて設置することをお勧めします。
- 本機はラジエーターやパワーアンプなど、発熱量の多いものの真上や隣接した場所に設置しないでください。また、このような機器と一緒にキャビネットに入れないでください。
- 本機自体はほとんど熱を発生することはありませんが、放熱のための換気用に本機の両側、後部、上部に若干の空間 (10 cm / 4 インチ以上) を取ることをお勧めします。
- 製品筐体上部の通気を妨げないようにしてください。

接続する

重要:

接続を行う前に、システム内の全製品の主電源を切断してください。

背面パネル



1 Mains input 電源入力

主電源接続用。下記「電源の接続」を参照してください。

2 POWER スイッチ

本機の電源のオン/オフを切り替えます。注記— これはスタンバイスイッチではなく、本機の主電源を切断するものです。

3 RS232 入出力

RS232 接続用。RS232 コントロール製品を [IN] 端子に接続して、本機を制御するのに使用できます。[OUT] 端子はRS232 によるコントロール可能な他の製品に RS232 コマンドを中継する場合に使用できます。

4 IR OUT (赤外線出力)

赤外線 (IR) リモート信号を中継して (KNEKT マルチルームシステムなどからディスプレイのIR センサーに受信されます)、サードパーティ製のリモートコントロール可能な製品をコントロールする赤外線リピーターに送ります。

5 (Rooms) 1 ~ 4, MAIN, RCU

本機はLinn KNEKT オーディオ配信システム内でLine Driver またはLine Receiver として使用することができます。詳細はLinn またはLinn 販売店にお問い合わせください。

6 REMOTE (IN, OUT)

Linn KNEKT システムのLinn Line Remote コードを接続する場合、または他の弊社製品とのリモートコマンドの送受信を中継する場合に使用できます。注記— 本機のIN を他の製品のOUT に、本機のOUT を他の製品のIN に接続してください。

7 LINE OUT (ライン出力)

パワーアンプへの接続用ラインレベル出力です。

8 TAPE OUT (テープ出力)

テープレコーダーなどのアナログ録音装置との接続用固定音量出力です。

9 ライン入力 1 ~ 5

CD プレーヤー、チューナー、テープデッキなど多くのラインレベル入力機器への接続用ライン入力です。

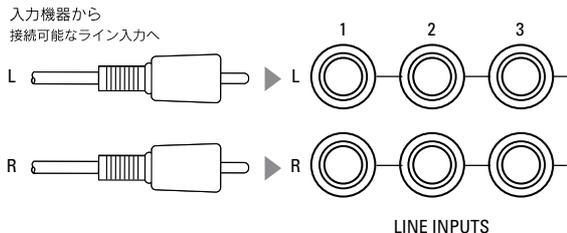
10 LINE INPUT 6 / フォノ

INPUT 6 のみ、MM 入力、MC 入力、またはラインレベル入力 (工場設定はMM 入力) に設定することができます。詳細は、本マニュアルの始めに記載した「重要な情報— フォノ入力」の章を参照してください。

11 EARTH GROUND (アース)

必要に応じて、ターンテーブルのトーンアームケーブルからアースを取るために使用します。また、主電源にアースが取れない場合、本機をアース端子に接続します。

ラインレベルの入力機器を接続する

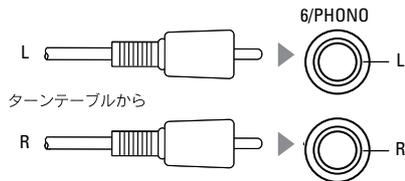


備考

LINE INPUT 6 / PHONO は、ラインレベルのソース製品との接続のためには再設定が必要です(販売店が調整を行います)。詳細については、「重要な情報 — フォノ入力」の章を参照してください。

画面に表示される入力名は、ご都合に合わせて変更することができます。詳細については、本マニュアルで後述する「セットアップ(ユーザーオプション)」の章を参照してください。

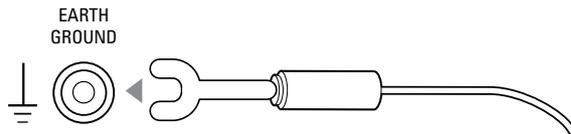
ターンテーブルの接続



重要事項:

LINE INPUT 6 / PHONO は、MC カートリッジが付属したターンテーブルとの接続のためには再設定が必要です(販売店が調整を行います)。詳細については、「重要な情報 — フォノ入力」の章を参照してください。

トーンアームケーブルからアース線が引かれている場合、通常、EARTH GROUND 端子に接続することによって最良の結果が得られます。

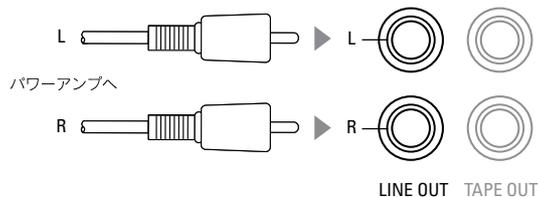


(必要に応じてアース線を接続してください。)

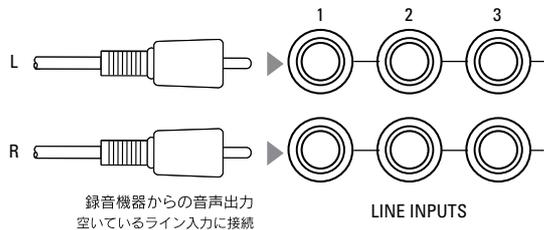
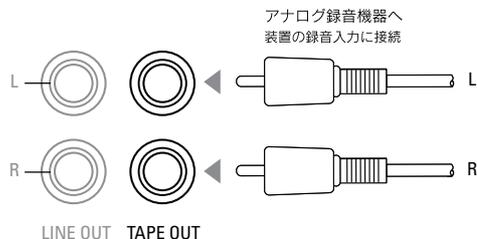
ただし、この接続によってノイズ(ハム音など)が生じたり、音質が低下したりする場合は、接続を外してください。トーンアーム、カートリッジによってはアース接続をしない方が優れた機能を発揮することがあります。

画面に表示される入力名は、ご都合に合わせて変更することができます。詳細については、本マニュアルで後述する「セットアップ(ユーザーオプション)」の章を参照してください。

パワーアンプに接続する



アナログ録音機器の接続(テープデッキなど)



電源の接続

重要 — 他のすべての接続が完了するまで、主電源には接続しないでください。接続/切断を行うときは、必ずシステムのすべての製品の電源コードを外してください。

本機を主電源に接続するときは、必ずアースしてください。

アース端子の付いた付属の成型電源コードを使用してください。アース端子の付いていない電源プラグ、ソケット、アダプターは絶対に使用しないでください。各国の規定に応じて、電源コードにヒューズプラグが付属している場合もあります。その場合、ヒューズ交換の際には必ず同タイプ・同定格のものを使用してください。

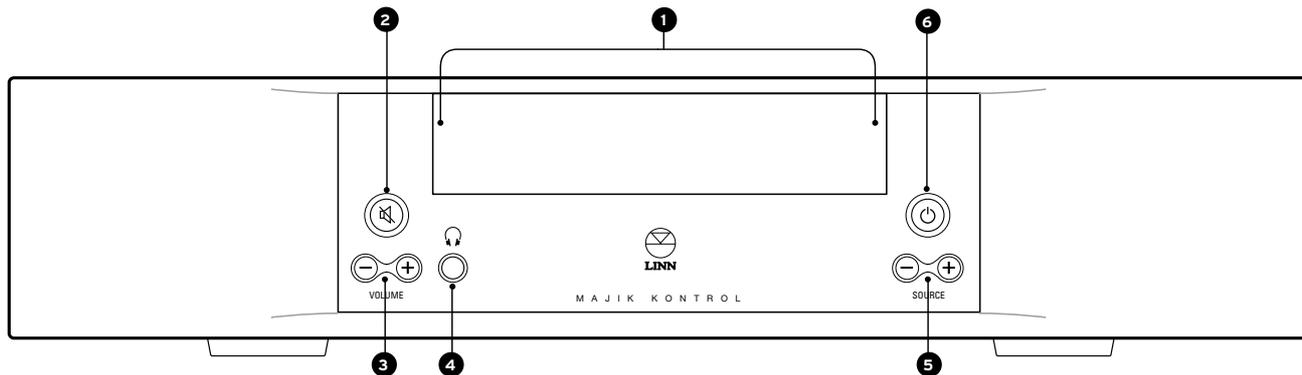
本機は世界中のすべての地域の電源に接続して使用でき、電圧を変換する必要はありません。自動電圧選択(AVS)機能は本機設計において不可欠な部分であり、電源は商用電源に応じて自動的に調整されます。

本機では、従来の設計に見られる、大型で重量があり、ノイズが多く、効率の悪いトランス(および関連回路)の代わりに、スイッチモード電源(SMPS)が使用されています。弊社設計のスイッチモード電源は、品質の低い商用電源に対しても優れた許容度を備え、条件がある程度悪い場合でも最善の状態に極めて近い動作を実現します。

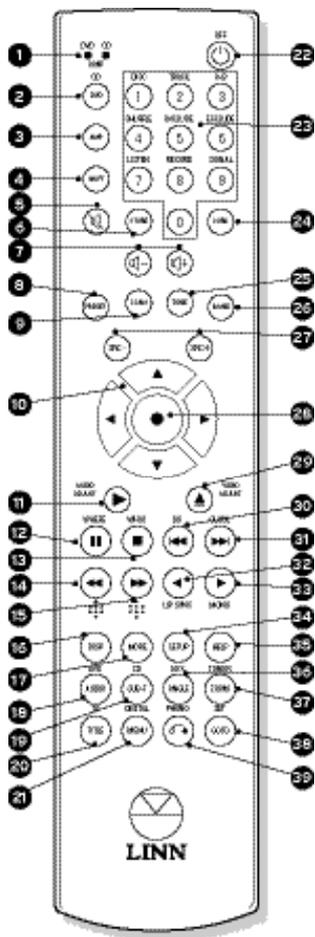
操作

コントロールキー

前面パネル



- ❶ 前面パネルのディスプレイ (赤外線リモコンセンサの位置)
- ❷  音量のミュート (消音) とその解除
- ❸  音量 - / + 音量を調節します。
- ❹  ヘッドフォン端子 3.5 mm のヘッドフォンジャックを接続できます。
- ❺ ソース - / + 入力機器 (ソース) の変更
- ❻  (スタンバイ) スタンバイモードの切り替え



リモコン グレーのボタンMAJIK CONTROLには使用しません

- ① **LED** リモコンから信号が送信されているときに点灯します。
LEDのパターンによって、リモコンの現在の操作モードが表示されます—下記「リモコンモード」を参照。
- ② **DVD / CD** リモコンモードをDVDプレイヤーコントロール用に変更します。
(SHIFT+DVD: リモコンモードをCDコントロール用に変更します)。下記「リモコンモード」を参照。
- ③ **AMP (アンプ)** リモコンモードをプリアンプコントロール用に変更します。下記「リモコンモード」を参照。
- ④ **SHIFT** シフト機能を使用可能にします。下記「リモコンモード」を参照。
- ⑤ **🔇** 音声のミュート(消音)/ミュート解除を切り替えます。
注記 —ミュートキーは常に機能し、リモコンモードの場合でも操作できます。
- ⑥ **STORE** ディスク再生とチューナーの情報を保存します [ディスクプレイヤーおよびチューナー用]。
- ⑦ **🔊 / 🔊+** 音量を調節します。注記 —音量調整は常に機能し、リモコンモードの場合でも操作できます。
- ⑧ **PRESET** プリセット [チューナー機能] にアクセスします。
- ⑨ **SCAN** スキャン機能 [チューナー機能] にアクセスします。
- ⑩ **△ / ▽ / ◀ / ▶** セットアップメニューの項目を選択し、各種機能を調整します。
- ⑪ **▶ / AUDIO ADJUST** ディスク再生 [ディスクプレイヤー機能] / 調整可能な音声の使用 [プリアンプ機能]。
- ⑫ **⏸ / WHERE*** ディスクの一時停止 [ディスクプレイヤー機能]。
- ⑬ **■ / WHAT*** ディスクの停止 [ディスクプレイヤー機能]。
- ⑭ **⏮ / ⋮*** ディスクの早戻しサーチ [ディスクプレイヤー機能]。
- ⑮ **⏭ / ⋮*** ディスクの早送りサーチ [ディスクプレイヤー機能]。
- ⑯ **DISP (画面表示)** ディスク再生中に前面パネルに表示される時間表示を変更します [ディスクプレイヤー機能]。
- ⑰ **MORE** 機能しません。
- ⑱ **AUDIO / DVD** DVDの音声言語選択 [AVディスクプレイヤー機能] / DVD入力の選択 (ソース設定メニューで割り当てられている場合のみ) [プリアンプ機能]。
- ⑲ **SUB-T (字幕) / CD** DVDの字幕オン・オフの切替 [AVディスクプレイヤー機能] / CD入力の選択 (ソース設定メニューで割り当てられている場合のみ) [プリアンプ機能]。

- 20 **TITLE / TV** DVD タイトルメニューへのアクセス [AV ディスクプレイヤー機能] / TV 入力の選択 (ソース設定メニューで割り当てられている場合のみ) [プリアンプ機能]。
- 21 **MENU / DIGITAL** DVD メインメニューへのアクセス [AV ディスクプレイヤー機能] / デジタル入力の選択 本製品では使用しません [AV プリアンプ機能]。
- 22 **⏻ (スタンバイ) / OFF** 本機のスタンバイモード切替 / 個別の [OFF] のコマンド送信 一定のコントロール用に必要。
- 23 **数字0 ~ 9 / シフト機能** 数字キー / 赤色で表示された機能を使用可能にします。
- 24 **SURR (サラウンド)** 音声フォーマットを選択します [AV ディスクプレイヤー機能]。
- 25 **TUNE** チューナー周波数を選択します [チューナー機能]。
- 26 **BAND** 周波数帯域を変更します [チューナー機能]。
- 27 **SRC- / SRC+ (source - / source +)** 入力を変更します。
- 28 **● ('enter')** 選択したオプションを実行します。
- 29 **▲ / VIDEO ADJUST** ディスクトレイの開閉 [ディスクプレイヤー機能] / 出力映像信号のタイプ選択 [AV プリアンプ機能]。
- 30 **◀◀ / DO*** 前のチャプター / トラックを選択します [ディスクプレイヤー機能]。
- 31 **▶▶ / CLOCK*** 次のチャプター / トラックを選択します [ディスクプレイヤー機能]。
- 32 **◀ / LIP SYNC** 早戻しスキャン [ディスクプレイヤー機能] / リップシンク調整の選択 [プリアンプ機能]。
- 33 **▶ / MONO** 早送りスキャン [ディスクプレイヤー機能] / 本製品では MONO は機能しません。
- 34 **SETUP** オンスクリーンセットアップメニューを開始 / 終了します。
- 35 **HELP** 本製品では機能しません。
- 36 **ANGLE / AUX (補助)** DVD で可能なアングルの選択 [AV ディスクプレイヤー機能] / AUX 入力の選択 (ソース設定メニューで割り当てられている場合のみ) [プリアンプ機能]。
- 37 **ZOOM / TUNER** 画像の拡大 [AV ディスクプレイヤー機能] / チューナー入力の選択 (ソース設定メニューで割り当てられている場合のみ) [プリアンプ機能]。
- 38 **GOTO / SAT (衛星)** ディスクの特定のタイトル、チャプター、あるいは時間ヘジャンプ [AV ディスクプレイヤー機能] / SAT 入力の選択 (ソース設定メニューで割り当てられている場合のみ) [プリアンプ機能]。
- 39 **↶ (復帰) / PHONO** DVD のマルチレベルメニューから戻る [AV ディスクプレイヤー機能] / PHONO 入力の選択 (ソース設定メニューで割り当てられている場合のみ) [プリアンプ機能]。

* 本機を LINN KNEKT システム内で使用する場合に使います。

リモコンモード

弊社システムの操作に必要なリモコンの数を最小限に抑えて便利にお使いいただけるよう、リモコンは各種弊社製品の操作ができるよう設計されています。リモコンでは以下に示すように、さまざまなモードでの操作が可能です：

AMP モード — 「AMP」キーを押します。プリアンプ機能（キーの上または下に青字で印字）がリモコン上の主要なキーに割り当てられ、「AMP」キーのいずれかを押すたびに両方のLEDが点灯します。

DVD モード — DVD キーを押します。DVD 機能がリモコン上の主要なキーに割り当てられ、それらのキーのいずれかを押すたびに「DVD」のLEDが点灯します。

CD モード — 「SHIFT」+ 「DVD」を押します。CD 機能がリモコン上の主要なキーに割り当てられ、それらのキーのいずれかを押すたびに「CD」のLEDが点灯します。

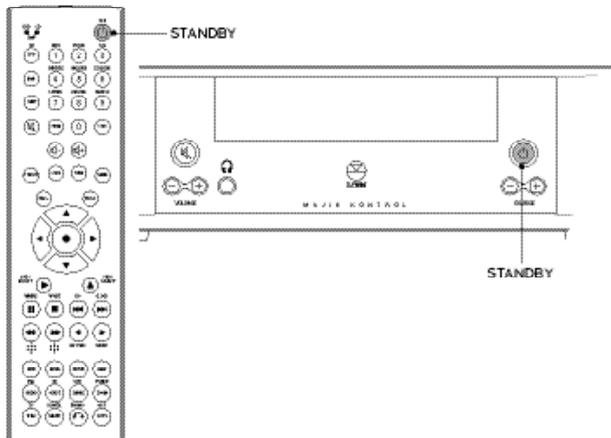
SHIFT 機能。SHIFT を押し、2 秒以内に上部分に赤字で印字されたキーのいずれかを押し、赤字で印字された機能を使用することができます。注記 — 上記の「モード」機能とは異なり、この機能はリモコンには再度割り当てられないため、シフト機能を使用するたびにSHIFT キーを押す必要があります。

注記：

リモコンのモードとコントロールされる製品によって、操作できるキーが異なります。キーによっては特定の製品でしか操作できず、ほかの製品では機能しないものもあります。本機で使用できるキーの詳細については、下記の操作説明を参照してください。

スタンバイ

電源コードが接続されるとMAJIK KONTROL は約8秒間にわたってセルフチェック動作に入ります。この間ディスプレイには3つのドットが表示されフロントパネル、リモコン共に操作は受け付けません。セルフチェックによる初期設定が終了するとスタンバイ状態となりディスプレイにスタンバイのシンボルマークが表示されます。



本機のスタンバイモードを解除する：

- リモコンまたは前面パネルの  を押します。

注記：

スタンバイモードの解除方法など、本機のセットアップの項目には個別に設定できるものがあります。詳細については、「セットアップ(ユーザーオプション)」の章を参照してください。

前面パネルのキーまたはリモコンのAMP機能キーのいずれかを押すことによって、スタンバイモードを解除することもできます。

本機をスタンバイモードにする：

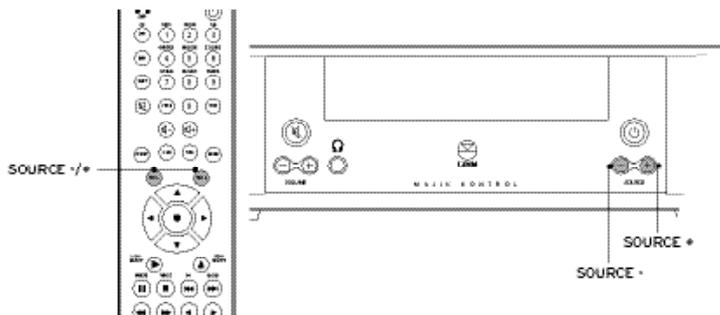
- リモコンまたは前面パネルの  を押します。

注記：

スタンバイモードは消費電力を抑えるため、本機を短時間使用しない場合や、リモート操作でスイッチを入れる必要がある場合に適しています。長期間使用しない場合は、背面の電源スイッチを切るか電源プラグを抜いて、主電源をオフすることをお勧めします。

基本操作

入力の選択



入力を選択する:

- リモコンか前面パネルの**SOURCE-**または**SOURCE+**を押し続けて(または繰り返し押しして)、利用可能な入力機器を選択します。

あるいは

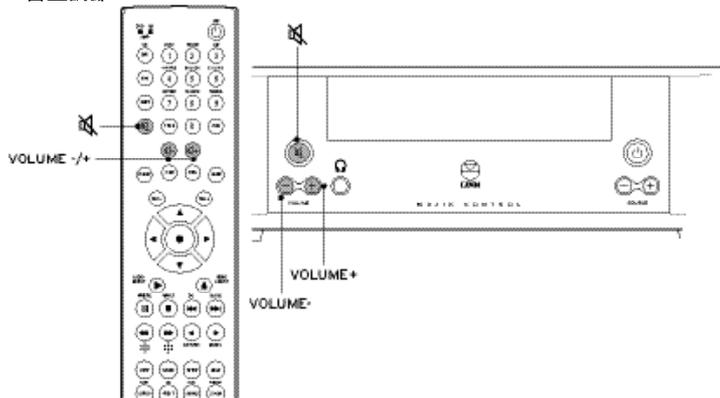
- 本機の入力タイプが設定されている場合、リモコンの直接ソース選択キーを使用して入力を直接選択します。詳細については、「セットアップ(ユーザーオプション)」の章を参照してください。

注記:

画面に表示される入力名、入力タイプは、ご都合に合わせて変更することができます。詳細については、本マニュアルで後述する「セットアップ(ユーザーオプション)」の章を参照してください。

ある入力タイプを「None」に設定した場合、その入力は選択できなくなります。この設定は、使用していない入力がある場合、その入力が**SOURCE-/+**を使用する選択画面に表示されないのが便利です。

音量調節



音量設定を調節する:

- 前面パネルの**VOLUME-**または**VOLUME+**を押し続けるか繰り返し押しします。

あるいは

- リモコンの または を押し続けるか繰り返し押しします。

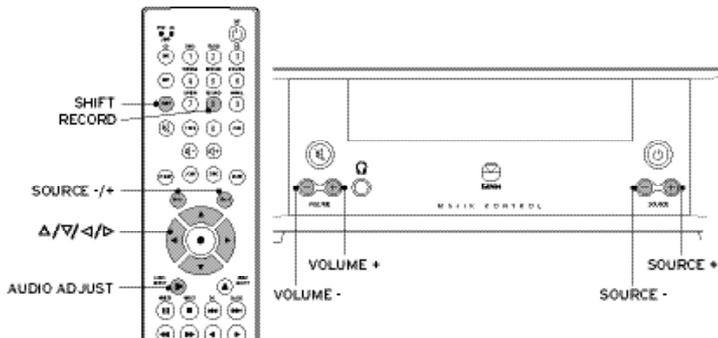
音量のミュート/ミュート解除を行う

- リモコンまたは前面パネルの を押しします。
- 元の設定に戻すには、再度 を押しします。

注記:

リモコンの音量キーとミュートキーは、リモコンモードの影響を受けません。

その他の調整



バランス調整

バランス設定を調整する

- リモコンの**AUDIO ADJUST**を押します(リモコンがAMPモードであることを確認します)。

現在のバランス設定が表示されます(デフォルト設定 = 0、センター位置にあります)。

- リモコンの**◁/▷**、または前面パネルの**VOLUME - / +**を使用してバランスを左右にそれぞれ調整します。

バランスをセンター位置にリセットする:

次のいずれかの操作を行います。

- 「**AUDIO ADJUST**」を押し続けます。

あるいは

- センター設定(0)に到達するまでバランスを調整します(上記説明参照)。

録音

入力機器から録音する:

- リモコンの「**RECORD**」を押します (**SHIFT + 8**)。
- リモコン(必ずAMPモードに設定のこと)の**SOURCE- / SOURCE+**、または**△/▽**ボタン、あるいはフロントパネルの**SOURCE - / SOURCE +**ボタンを用いて録音したい入力機器を選択する。

選択された入力機器から一定の音量でTAPE OUTに出力され、接続しているアナログレコーディング機器によって記録されます。

録音に関する注記:

MAJIK KONTROLがKNEKTシステムのメインルームでドライバーとして使用されている場合(セットアップメニューでKNEKTの項目を**Main Room**に設定した場合)、録音する入力をAS KNEKTに設定します。これはローカルルームへの音声の配信をするためです。録音経路を固定するために必要な入力機器名を選択します。録音終了後AS KNEKTを再選択してください。

MAJIK KONTROLがKNEKTシステムのローカルルームでレシーバーとして使用されている場合(セットアップメニューでKNEKTの項目を**Local Room**に設定した場合)、KNEKT(メインルームから配信された音声信号)も追加入力として録音できます。

NO SOURCE 録音経路が設定されていない表示です。

NONE に割付られた入力は表示されません。

セットアップ(ユーザーオプション)

セットアップメニューを使用して、要望に合わせた操作機能のカスタマイズ、特殊な設置状態での操作、あるいは重要な機能データの確認を行うために本機を設定できます。

セットアップメニューに入り選択する

(リモコン使用)

- AMP キーを押してリモコンをAMP モードにします。
- [SETUP] を押します。
- △/▽ を使用して、メニュー内のオプションをスクロールします。
- オプションを選択するには、▷ または [enter] を押します。
- 前のオプションまたはメニューに戻るには、◁ を押します。
- SETUP を押してセットアップを終了します。

あるいは

(前面パネル使用)

- [MAIN MENU] が表示されるまで  を押し続けます。
- SOURCE + / SOURCE - を使用して、メニュー内のオプションをスクロールします。
- VOLUME+ または  を押してオプションを選択します。
- 前のオプションまたはメニューに戻るには、VOLUME- を押します。
-  を押してセットアップを終了します。

注記:

現在有効のオプション(デフォルトまたは選択したものは、横にチェックマーク ✓ が付いた状態で表示されます。

メインメニューには次の4つのサブメニューがあります。

Display configuration (表示の設定)

Source configuration (ソースの設定)

Audio Configuration (音声設定)

Unit configuration (機器設定)

Display configuration (表示の設定)

オプション	設定	内容	デフォルト設定
Display Brightness (ディスプレイの輝度)	Auto (自動) Percentage (パーセンテージ) (2~100%)	<p>「Auto」に設定した場合、ディスプレイの輝度は周囲の明るさに応じて変化します(周囲が暗いと画面は暗くなり、周囲が明るいと画面は明るくなります)。</p> <p>「Auto」に設定するには、パーセンテージ設定を上下にスクロールすると、0%が表示される場所にAUTO オプションが表示されます。</p> <p>「Percentage」では、設定値を2%~100%の間で選択できます。ディスプレイの輝度は(スタンバイモード解除時、指定した輝度の設定値を維持します)。</p>	Auto
Display Content (表示内容)	ソースと音量 音量 ソース 前回使用のもの	<p>「ソースと音量」に設定した場合、現在選択されているソースと現在の音量設定の両方が表示されます。</p> <p>「音量」に設定した場合、現在の音量設定のみが表示されます。</p> <p>「ソース」に設定した場合、現在のソース設定のみが表示されます。</p> <p>「前回使用のもの」に設定した場合、調整する前回の設定(ソースまたは音量)が維持されて表示されます。</p> <p>注記: 上記の設定は、本機がスタンバイ解除されていてディスプレイがスリープモードに入っておらず、調整中ではないときのみ適用されます。</p>	ソースと音量
Display Timeout (ディスプレイ タイムアウト)	1~10 秒間	調整が行われた後、ディスプレイが上記説明の「Display Content」設定に戻るまでにかかる時間を設定します。	1 秒間
Sleep Display Delay (スリープ ディスプレイ遅延)	秒単位で遅延を設定 (0秒~5分) Off	<p>この時間設定では最後のコマンドを受信してから、ディスプレイがスリープモードになるまでの時間を決定します(ディスプレイ上に3つの点のみが表示される状態)。</p> <p>「Off」に設定した場合、ディスプレイはスリープモードに入りません。</p>	Off

Source configuration (ソースの設定) 各ソースについて、以下に記載したオプションが使用できます。調整するソースを選択して必要に応じて修正してください。

オプション	設定	内容	デフォルト設定
名称	該当なし	<p>ディスプレイに表示される入力名を変更できます。名称はスペースを含む最大12文字まで入力できます。</p> <p>選択した入力名を変更する:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● リモコンの Δ/∇ キーまたは前面パネルの SOURCE +/- キーを使用して、点滅している文字を変更します。 ● リモコンの \triangleright キーまたは前面パネルの VOLUME + キーを使用して、次の文字に移動します。 ● 前の文字に戻りたい場合はリモコンの \triangleleft キーまたは前面パネルの VOLUME - キーを使用します。 ● 変更が完了したら、リモコンの [enter] または前面パネルの \odot を押して変更を実行します。 ● 設定を終了してメニューに戻るには、リモコンの \triangleleft キーまたは前面パネルの VOLUME - キーを繰り返し押します。 	<p>Source 1 = Maji CD</p> <p>Source 6 = Phono</p> <p>Source 2 ~5 はリアパネルの数字表記 (Input 1、Input 2 等)</p>
Type (タイプ)	Aux (補助) None Satellite (衛星) Cable (ケーブル) TV DAT Tape 2/VCR (ビデオ) Tape 1 Phono/Aux 2 Tuner (チューナー) DVD CD	<p>選択したソースタイプは、スクロールして選択できる入力としてリモコンから直接選択できます(「リモコン」の章参照)。</p> <p>注記: ソースタイプとして「None」を割り当てた場合、その入力は選択できなくなります—接続されていないソース入力を回避するのに便利です。</p> <p>リスト表示されたソースタイプには、同梱のリモコンで直接選択できないものもあります。リンの旧型リモコンでのみ使用できるものがあります。</p> <p>同じソースタイプとして複数の入力が設定されている場合、リモコンで繰り返し関連するキーを押すことによって、該当する項目すべてをスクロールして選択することができます。</p>	Aux
Volume Offset (音量微調整)	-15 ~+15	<p>各ソース入力の音量レベルを、他と比較して増減できます。</p> <p>すべてのソースで音量を一定にすることができます。たとえば、CD プレイヤーとチューナーを接続した場合、CD プレイヤーの出力音量がチューナーの出力音量より大きいことがあります。この機能によってソースを切り替えるごとに音量を調整する必要がなくなります。</p> <p>注記: 音量の違いは音量表示に表示されません。したがって、微調整するソースを切り替えるとき、その微調整の状態は音量表示には表示されません。</p>	0

Audio Configuration (音声設定)

オプション	設定	内容	デフォルト設定
Volume Rate (音量レート)	1/10 ~ 10/10	VOLUME +/- キーを押し続けたときに変化する音量のレートが調整できます。 1/10 = 最もゆるやか、10/10 = 最も急激。	6/10
Mute Rate (ミュートレート)	1/10 ~ 10/10	MUTE キーを押したときに増減する音量のレートが調整できます。 1/10 = 最もゆるやか、10/10 = 最も急激。	6/10
Volume Limit (音量制限)	0 ~ 100	本機の最大音量を制限することができます。 たとえば、音量制限を60に設定した場合、音量を60より上に上げることはできません。	100
Volume Preset (音量プリセット)	0 ~ 100	本機のスタンバイが解除されたときの音量レベル調整ができます。	40
Headphone Offset (ヘッドフォン オフセット)	-15 ~ +15	標準の音声出力(LINE OUT) に対して、ヘッドフォン出力の音量を調整できます。 このオプションによって、ヘッドフォンのタイプごとに異なる出力を補正することができます。したがって、オフセットを調整した後にヘッドフォンを接続または切断する場合、音量を調整する必要がありません。	0

Unit configuration (機器設定)

オプション	設定	内容	デフォルト設定
Selection Timeout (選択タイムアウト)	1～10 秒間	ソースの選択が実行されるまでの時間を調整できます。遅延時間の間、スクロールして選択可能なソースを見ることが出来ます。	1 秒間
Startup Source (スタートアップソース)	None 前回使用のもの KNEKT Input 6 (入力6) Input 5 (入力5) Input 4 (入力4) Input 3 (入力3) Input 2 (入力2) Input 1 (入力1)	本機がスタンバイ解除されたときに、どのソース入力か選択されるかを設定できます。 注記: 本機がLinn KNEKT マルチルームシステムのLocal room でレシーバーとして機能している場合、[KNEKT]のみが使用可能です。	前回使用のもの
Standby Record From (スタンバイレコード)	None 前回使用のもの KNEKT Input 6 (入力6) Input 5 (入力5) Input 4 (入力4) Input 3 (入力3) Input 2 (入力2) Input 1 (入力1)	本機がスタンバイモードの間、ソースがTAPE OUT で出力されるよう設定できます。 注記: 本機がLinn KNEKT マルチルームシステムのLocal room でレシーバーとして機能している場合、[KNEKT]のみが使用可能です。詳細はLinn またはLinn 販売店にお問い合わせください。	None
KNEKT	None INTERSEKT Local Room (ローカルルーム) Main Room (メインルーム)	本機をLinn社KNEKT マルチルームシステム内に設置した場合にのみ使用します。詳細はLinn またはLinn 販売店にお問い合わせください。 KNEKT システム内での本機の役割を設定します。 [None] — 本機がKNEKT システムに設置されていない場合に使用します。 [INTERSEKT] — 本機がKNEKT INTERSEKT と併用して、メインルームで設置されている場合に使用します。 [Local Room] — 本機がKNEKT ローカルルームでレシーバーとして設置されている場合に使用します。 [Main Room] — 本機がKNEKT システム内のメインルームドライバーとして設置されている場合に使用します。	None
RCU/IR Socket (RCU/IR 端子)	RCU IR	RCU がこの端子に接続されている場合は、[RCU] に設定します。 IR レシーバーがこの端子に接続されている場合は、[IR] に設定します。 注記: この端子に接続して本機をコントロールしたり他の製品にコマンドを送ったりすることができる製品の詳細については、Linn またはLinn 販売店にお問い合わせください。	RCU

Unit configuration (機器設定)

オプション	設定	内容	デフォルト設定
Handset Commands (リモコンからの コマンド)	Enabled Disabled	「Enabled」に設定した場合、リモコンからのコマンドを受信します。 「Disabled」に設定した場合、リモコンからのコマンドを受信しません。	Enabled
RS232 SETUP (RS232 設定)	Baud Rate (ボーレート) Parity (パリティ) Data Bits (データビット) Stop Bits (ストップビット) RS232 Events (RS232 情報通信)	このオプションによって、RS232 セットアップサブメニューにアクセスできます—本機を他のRS232 を使用できる製品と通信するように設定します。左記の各オプションには多くの設定があり、使用されているRS232 プロトコルに合うように調整する必要があります。デフォルト設定は右記のとおりです。	9600 Even 7 1 Disabled
Defaults (デフォルト)	Save Installation (設定の保存) Restore Installation (設定の修復) Reset Factory Defaults (出荷時設定への リセットデフォルト)	インストーラーとして保存—本機の設定後、この項目を選択すると設定を保存できます。本機の設定を変更するときにはいつでも、保存されたインストーラー設定を元に戻すことができます(以下を参照してください)。この項目を選択することによって、新たなインストーラー設定として保存する製品のセットアップに対するすべての変更が保存され、既存のインストーラー設定が上書きされます。 インストーラーを元に戻す—セットアップについて行なった変更を保存しない場合、このオプションを使用して、インストーラー設定を元に戻してください。 工場出荷時設定のリセット—全メニュー内の全オプションを工場出荷時の設定に戻します。	該当なし
Unit information (ユニット情報)	H8 S/W Main Board ID Front Panel Board ID Phono Board ID	本機のソフトウェアのバージョン変更について確認できます。このカテゴリーは主に弊社スタッフおよび弊社指定サービス代理店による使用を対象としています。 注記: 「ユニット情報」カテゴリーでは設定変更できません。	該当なし
	Input 6 type (入力6のタイプ) Phono MM Phono MC Line Level (ラインレベル)	調整不可—参照用のみ。再設定が必要な場合、Linn 販売店によるハードウェアの調整によって行われます。 注記: Moving-magnet およびmoving-coil はphono cartridgeのタイプです。カートリッジがあり、どのタイプが適用するかわからない場合は、パッケージまたはメーカー公表の情報を参照してください。	Phono MM

仕様

端子タイプ RS232 IN/OUT (RS232 入出力) IR (ルーム) 1 ~4 MAIN RCU REMOTE IN/OUT (リモート入出力) LINE OUT (ライン出力) TAPE OUT (テープ出力) LINE INPUTS (ライン入力)	RJ11 3.5 mm ジャック RJ45 // // RCA Phono // // //
入力インピーダンス MM PHONO INPUT (MM フォノ入力) MC PHONO INPUT (MC フォノ入力) LINE INPUTS (ライン入力)	48 k Ω 68 pF 180 Ω 10 nF 10 k Ω
入力電圧 MM PHONO INPUT (MM フォノ入力) MC PHONO INPUT (MC フォノ入力) LINE INPUTS (ライン入力)	70.0 mV ピーク @ 1 kHz 5.0 mV ピーク @ 1 kHz 7.5 V ピーク, 5.3 V rms
フォノ利得 MM PHONO INPUT MC (HIGH GAIN) MC (LOW GAIN)* *dealer adjustable	+40 dB (x 100) @ 1 kHz +64 dB (x 1500) @ 1 kHz +54 dB (x 500) @ 1 kHz
出力インピーダンス LINE OUT (ライン出力) TAPE OUT (テープ出力) ヘッドフォン	300 Ω 300 Ω 11 Ω
出力電圧 LINE OUT (ライン出力) TAPE OUT (テープ出力) ヘッドフォン	7.5 V ピーク, 5.3 V rms 7.5 V ピーク, 5.3 V rms 7.5 V ピーク, 5.3 V rms

出力オフセット LINE OUT (ライン出力) TAPE OUT (テープ出力) ヘッドフォン	1 mV 1 mV 1 mV
S/N 比 ライン MM PHONO INPUT (MM 入力) MC PHONO INPUT (MC 入力)	-106dB 未満 -80dB 未満 -90dB 未満
チャンネルバランス	+/- 0.2 dB 以内
チャンネルセパレーション ライン MM PHONO INPUT (MM 入力) MC PHONO INPUT (MC 入力)	-106dB 未満 -104dB 未満 -90dB 未満
ゲインレンジ	-80 dB - +20 dB
ゲイン解像度	0.5 dB
ユニティゲイン音量	0 dB = volume 80
ダイナミックレンジ	106 dB
周波数特性	2.5 Hz - 170 kHz (-3 dB) 7 Hz - 70 kHz (-0.5 dB)
消費電力 スタンバイ時 操作時	8 W 13 W
電源電圧 スイッチモード (自動検出)	100 - 120 V ac (\pm 10%) 50 - 60 Hz 200 - 240 V ac (\pm 10%) 50 - 60 Hz
ヒューズ定格	T 800 mA

仕様

外形寸法	381 mm (w) x 80 mm (h) x 355 mm (d) 15 1/16" (w) x 3 1/8" (h) x 14" (d)
梱包寸法	520 mm (w) x 220 mm (h) x 490 mm (d) 20 1/4" (w) x 8 3/4" (h) x 19 1/4" (d)
重量	4.90 kg 10.78 lb
梱包重量	6.50 kg 14.33 lb
操作	前面パネルに6つのコントロールボタン リモートコントロール可能(付属のリモコン) RS232 互換機器によるコントロール用RS232 入出力 他の弊社機器とのコマンドの送受信中継用のリモート入出力 KNEKT 端子経由で完全にKNEKT 互換

保証とサービス

この製品はお買い上げになった国できちんとご使用いただけるように調整されており、あなたの合法的権利が制限を受けることはありません。加えて、製造上の欠陥によってトラブルが発生した場合には、弊社が無償にて部品を交換いたします。詳しくは販売店までお問い合わせください。

ヨーロッパの各地、アメリカ合衆国、その他いくつかの市場では、お買い上げをご登録いただいたお客様に対して、拡大保証が適用される場合があります。製品に付随する登録カードには販売店のスタンプが必要です。なるべく早くご返送ください。あるいは、www.linn.co.uk にて保証登録していただけます

警告

製品をむやみに改造解体した場合は保証が無効になります。ユーザーが修理・調節すべき内部部品はありません。製品サービスに関するすべての問い合わせは正規販売店でのみ対応しています。

技術サポート、お問い合わせ

技術サポート、製品についてのお問い合わせは、最寄りの販売店またはリン・ジャパンまでご連絡ください。

販売店に関してはホームページをご覧ください。

www.linn.co.uk

www.linn.jp

重要

- 製品を購入した日付などを記載した領収書を保存しておいてください。
- 修理のための輸送の際には、必ず製品に保険をかけてください。

Linn Products Limited

Glasgow Road
Waterfoot
Eaglesham
Glasgow G76 0EQ
Scotland, UK

電話: +44 (0)141 307 7777
FAX: +44 (0)141 644 4262
ヘルプライン: 0500 888909
電子メール: helpline@linn.co.uk
Web サイト: www.linn.co.uk

Linn Incorporated

8787 Perimeter Park Boulevard
Jacksonville
FL 32216
USA

電話: +1 (904) 645 5242
FAX: +1 (904) 645 7275
ヘルプライン: 888-671-LINN
電子メール: helpline@linninc.com
Web サイト: www.linninc.com

Linn Deutschland GmbH

Hühnerposten 1d
D-20097 Hamburg
Germany

電話: +49-(0) 40-890 660-0
FAX: +49-(0) 40-890 660-29
電子メール: info@linngmbh.de
Web サイト: www.linn.co.uk

リン・ジャパン

101-0021
東京都千代田区外神田6-1-4
神田ノーザンビル4F

電話: +813.5816.6881
FAX: +813.5816.6882
ヘルプライン: 0120 126 173
Web サイト: www.linn.jp